

「平成 30 年 2 月 1 日に思う」

平成 30 年の幕開けは、おだやかにはじまったように思います。

今年は戌（いぬ）年。正確に言うと干支は「戌戌（つちのえいぬ）」となるようです。戌は「成長の絶頂期」とされ、戌は「草木が枯れる時期」を示しています。また、古代中国の陰陽五行説でこの二つはともに「陽の土」に分類され、このように同じもの同士が重なる関係を「比和」といい、「相互を最大限に強め合い、持てる属性を最大限に発揮するもの」であるとされています。つまり今年は「繁栄と滅亡の命運がかかった重大な転換期である」と解釈できます。

川上村の未来を左右する重要な年であるという覚悟を持ち、しっかりと前を見据え、「水源地の村づくり」に向けて、慎重かつ果敢に挑みたいと思います。

そんな年の年頭に際し、恒例の「川上村区長会総会」が開かれました。各集落の代表として区長の皆さんには日頃から大きな役割を担っていただいています。

本村のように「地域小なる」がゆえに「顔がみえる」関係は、昨今の人間関係が希薄化する社会にあって誇れるものです。しかしながら関係が深まり強まることで新たな課題に直面するなど、区長の皆さんの役割は増える一方です。そのように、**行政の最前線・区民の最前線**で奮闘される区長の皆さんを精一杯サポートすることが、「地域に寄り添う行政」としての村が負うべき責務であると考えています。

「村の発展は、まず地域から！！」という思いで、「都市にはない豊かな暮らしの実現」に向けて引き続きしっかりと取り組んでいきます。